

# 認知症窓口を一本化

## 明石市社協担当者が聞き取り

明石市は1日、同市貴崎の市立総合福祉センターに「認知症総合相談窓口」を開設した。これまで市役所などで対応していた窓口を一本化することで、担当者は「認知症に早く気づけば進行を遅らせることもできる。早期治療などに結びつ

きたい」としている。

県によると、高齢者の4人に1人が認知症かその予備軍で、明石市内の認知症高齢者は少なくとも約7000人に上る。相談窓口では今後、同センターを運営する市社会福祉協議会の担当者が、相談者の症状や心

境などを聞き取った上で、市内13か所にある在宅介護支援センターや病院を紹介し、市社協などが提供する支援事業を案内する。

担当の青木かおりさんは「認知症は家族の理解も重要。どんなに小さなことでもいいので、気軽に相談してほしい」と呼びかけている。相談は電話(078・926・2200、平日の午前8時55分～午後5時40分)でも受け付ける。